

# BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

高梨琢磨 (独立行政法人森林総合研究所 主任研究員)

## 生物が利用する音・振動の バイオミメティクス

2014年 8月 2日 (土)

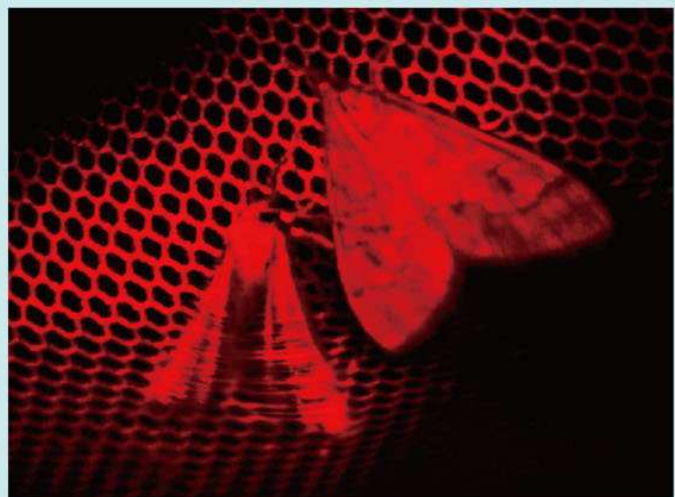
会場：北海道大学総合博物館 / 知の交流コーナー

時間：午後1時30分から午後3時30分

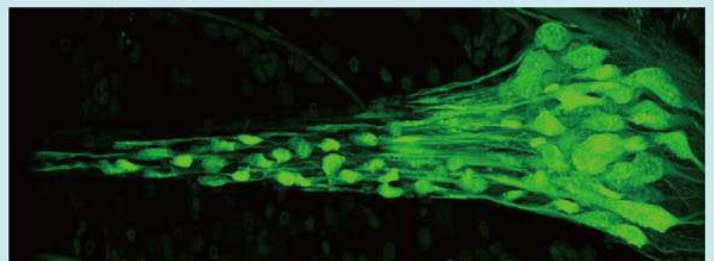
「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」という句で代表されるように、虫の音は古くから私たちに親しまれています。昆虫をはじめとする生物は音や振動を使って、仲間を見つけたり、敵から逃れたりしています。この生物の優れた能力を、本セミナーで解説します。そして、生物が利用する音や振動からヒントを得た、私たちの生活に不可欠な農業や工業の新しい技術へと発展できるバイオミメティクスについて紹介します。



カブトムシの雌雄 (小島渉氏提供)



メスに対して超音波のラブソングを発するアワノメイガのオス



マツノマダラカミキリの振動受容器 (西野浩史氏提供)

主催：北海道大学総合博物館  
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」  
高分子学会 北海道支部

北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp